

転移性骨腫瘍における血中 GDPP 測定に関する研究

1. 研究の対象

2011 年 2 月～2027 年 3 月に下記施設を受診された方のうち血液採取に同意を得られた方。

2. 研究目的・方法

前立腺癌・腎細胞癌・乳癌・肺癌などにおいては一定の頻度で骨転移を生じるが、骨転移に対する臨床的に有用なバイオマーカーは不明瞭である。そこで我々は転移性骨腫瘍患者における鋭敏な低侵襲性骨転移バイオマーカーとして候補タンパクである GDPP の臨床的意義について検討する。具体的には、2027 年 3 月までに受診した種々の癌腫の方々の骨転移を含めた様々な病期における血中 GDPP 値と骨転移の有無を神奈川県立がんセンター・大阪国際がんセンターと共同で検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、検査結果、転移部位、カルテ番号 等

試料：血液

4. 外部への試料・情報の提供

保管している血液試料は東ソー株式会社に郵送しデータ測定を行い、当センターで臨床データと組み合わせて特定の関係者以外がアクセスできない状態でデータの共有を行う。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表者

大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学(泌尿器科) 助教 加藤大悟

データセンター (大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学(泌尿器科))

検体の測定 東ソー株式会社、BML、LSI メディエンス

共同研究機関及び研究責任者

神奈川県立がんセンター 臨床研究所 宮城洋平

大阪国際がんセンター 泌尿器科 中山雅志

研究分担者

大阪国際がんセンター 泌尿器科 川村憲彦、林 裕次郎

大阪大学乳腺内分泌外科 島津研三、増永奈苗、瀬戸郁美、金 敬徳

大阪国際がんセンター 乳腺内分泌外科 中山貴寛、奥野 潤

大阪大学呼吸器・免疫内科 武田吉人、平田陽彦、白井雄也、三宅浩太郎、内藤祐二郎、白山敬之、枝廣龍哉、益弘健太郎、内藤真依子、安部祐子、長友 泉

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 西野和美、田宮基裕、井上貴子、國政 啓、川村卓久、

宮崎暁人、田中庸弘、二村 俊、小牟田清英

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：大阪府大阪市中心区大手前 3 丁目 1-69

電話番号：06-6945-1181

研究責任者の所属・氏名：大阪国際がんセンター 泌尿器科 中山雅志